

# トムス カローラスポーツ リヤルーフスポイラー

このたびはトムス リヤルーフスポイラー(以下ルーフスポイラー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。

本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

**適応車種** 本製品は以下の車種に対応しています。(2018年12月)

**トヨタ カローラスポーツ ZWE211/NRE21# 平成30年6月～ トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。**

**取り付け上のご注意** 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.ルーフスポイラー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.ルーフスポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着してください。  
また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。  
ルーフスポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジトラック等で車両を固定してください。
- 4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。  
(詳しくは「ルーフスポイラー素地品の塗装手順」を参照の事)  
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
- 7.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
- 8.両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。  
両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 9.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 11.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 12.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

**構成部品** 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

## 【ルーフスポイラー 構成部品】



- ①ルーフスポイラー ×1
- ②位置出し型紙 ×1
- ③1.2mm×2m 両面テープ ×1
- ④プライマー ×1
- ⑤ペフワッシャ ×4
- ⑥M6×20mm アブセットボルト ×2
- ⑦M6×25mm アブセットボルト ×2
- ⑧20mmワッシャ ×4
- ⑨M6ターンナット ×2

## 取付手順

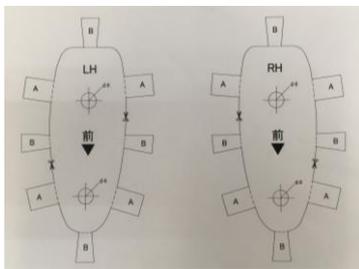


### 【ルーフスポイラーの取り付け】

1. ①ルーフスポイラーを車両に仮当てし、取り付け位置を確認し各部に不具合がないか確認し、車両及びスポイラー両面テープ貼付け面に左図を参考にマスキングを行う。  
【図1】



【図1】



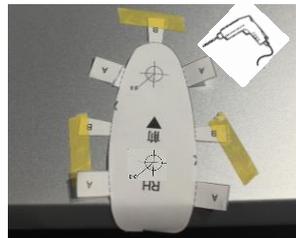
【図2】



【図3】



【図4】

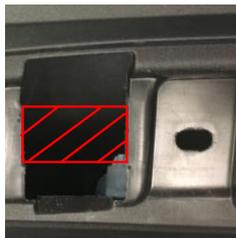


2. ②位置出し型紙をハサミ等で切り取り、『A』を①ルーフスポイラー脚部に型紙をマスキングテープ等にて貼り付け、車両に仮付ける。  
【図2】
3. 『B』を車両側にマスキングテープ等で貼り付け、『A』を①ルーフスポイラーから剥がし①ルーフスポイラーを取り外す。  
【図3】

4. ②位置出し型紙のマーキング部にφ8ドリルで4ヶ所穴あけをする。  
【図4】



【図5】



5. バックドア中央部カバーを取り外し、斜線部分をカットする。配線用クリップを取り外す。  
【図5】



【図6】

6. ③両面テープの貼り付け部のゴミ、ホコリをウエス等で清掃し脱脂処理を行い、④プライマーを塗布し十分に乾燥させる。左図を参考に③両面テープを貼り付ける。車両側も左図マスキング内側に④プライマーを塗布する。  
【図6】

**注意**

プライマー使用に際しては、3M PACプライマーN200取扱説明書に従い使用する。  
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間  
ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。  
気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。  
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

**注意**

脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため、接着面の脱脂処理は十分に行う。



【図7】

7. ⑨ターンナットを使用し、φ10穴位置部に左図のように奥まで差し込む。  
【図7】



【図8】

8. 車両穴あけ位置に⑤ペフワッシャを4ヶ所貼り付ける。  
【図8】



【図9】



【図10】

9. ①ルーフスポイラーに貼り付けた③両面テープを中央部は剥がし、その他の各部は10mm程度剥がして両面テープが車両貼り付かない様に仮合わせをする。

【図9】

10. 図10上部○印部を付属の⑧ワッシャ、短い⑥アプセットボルト (M6×20mm)を使用して締め付けを行う。

図10下部を付属の⑧ワッシャ、長い⑦アプセットボルト (M6×25mm)を使用して締め付けを行う。

**※本締め付は行わないでください。**

【図10】

11. 各部の位置を確認し、③両面テープを貼り付け圧着する。

注意

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディに付かない様に気を付けて作業を行う。

注意

両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度 [49N (5kgf/cm<sup>2</sup>)] で行なう。

12. 9.にて仮締めした⑥⑦アプセットボルトを本締めを行う。

13. 5.にて取り外した配線クリップを元に戻す。

【図10】



(お問い合わせ先)

株式会社 トムス

TEL; 03-3704-6191

月～金 AM9:00～PM6:00

**TOM'S**

# リヤルーフスポイラー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

**塗装後のクレームには応じません。**

## 構成部

- ①ルーフスポイラー x1
- ②位置出し型紙 x1
- ③1.2mm×2m 両面テープ x1
- ④プライマー x1
- ⑤ベフワッシャ x4
- ⑥M6×20mm アプセットボルト x2
- ⑦M6×25mm アプセットボルト x2
- ⑧20mmワッシャ x4
- ⑨M6ターンナット x2

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

### I 塗装作業手

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

#### 注意！

本製品はFRP製のため適切な塗料を使用する。

#### 注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがあ